

平成 30 年 10 月

2020 年度 中学校数学科 移行措置について

日本文教出版株式会社

日頃は、弊社発行の教科書『中学数学』をご使用いただきまして誠にありがとうございます。

さて、文部科学省から告示されました新しい学習指導要領に基づく教科書は、中学校では2021年4月から使用開始となります。それに先立ちまして、2019年度、2020年度の2年間において、新課程の内容の一部を前倒しして取り入れる移行措置を実施することが文部科学省から告示されています。

2020年度の中学校数学科におきましては、次の表に示した点にご留意の上、ご指導いただきますようお願い申し上げます。なお、2019年度の移行措置に関しましては、別紙「2019年度 中学校数学科 移行措置について」をご確認ください。

■2020 年度移行措置への対応（第 1 学年，第 2 学年）

第 1 学年へは弊社発行の教科書『中学数学 1』と合わせて、以下のようにご指導いただきたく、よろしく願いいたします。

◇印の内容は、2020 年度に配布される補助教材を使ってご指導ください。

対象学年	移行措置	教科書『中学数学 1』との対応
第 1 学年	◇「自然数を素数の積で表すこと」の追加	P.48 の後に追加。
	◇「累積度数」の追加	P.237 の後に追加。
	「誤差や近似値， $a \times 10^n$ の形の表現」の省略	P.238-239， P.243 「基本の問題」の 3， P.244 「7 章のたしかめ」の 1 (3)， 3 を省略。
	◇「多数の観察や多数回の試行によって得られる確率」の追加	P.243 の後に追加。

第 2 学年へは弊社発行の教科書『中学数学 2』と合わせて、以下のようにご指導いただきたく、よろしく願いいたします。

◎印の内容は、2019 年度に配布される補助教材を使ってご指導ください。

対象学年	移行措置	教科書『中学数学 2』との対応
第 2 学年	◎「四分位範囲や箱ひげ図」の追加	P.184 の後に追加。

※2019 年度の 1 年生に配布される補助教材は 2 年間使用です。

(第 3 学年には、追加，省略する内容はありません。)